令和6年4月1日

消防防災分野において有効に活用できると認められる

「消防防災製品等」の推奨

消防防災製品等推奨品
（一財）日本消防設備安全センター

一般財団法人日本消防設備安全センターでは、平成３０年３月１２日付けで、一定以上の地震を感知した時にブレーカーを遮断し、地震時に発生する通電火災を防止することができる感震ブレーカー等（簡易タイプ）を次のとおり推奨しました。

機器名	感震ブレーカー等（簡易タイプ）
機器型式記号	ｋｉ感震センサー ＨＫＩＡ００２―ＡＳ１、ＨＫＩＡ００２―ＡＳ２
申請者名	ケー・アイ技術株式会社
推奨番号	推防災第４２号
推奨年月日	平成３０年３月１２日
推奨の有効期限	令和８年３月３１日

本製品「感震ブレーカー等（簡易タイプ）」は、一定以上の地震を感知した時に、漏電ブレーカーを遮断し、地震時に発生する通電火災を防止するコンセント用アダプターで、次に掲げる特長、構造・機能を有するものである。

1　特長

(1)　アース付コンセントに設置し、地震を感知するとアース線に擬似漏えい電流を流して、分電盤に設置されている漏電ブレーカーを作動させるものである。

(2)　地震波感知から３分後に擬似漏えい電流を流す照明確保機能を有する。

(3)　地震波感知から擬似漏えい電流を流すまでの３分間に停電すると、地震波感知を記憶して、復電時に擬似漏えい電流を流す地震波感知記憶機能を有する。

(4)　停電中に地震が発生してもセンサーは作動しないが、家屋倒壊（30 度以上の傾き）の場合は、復電時に擬似漏えい電流を流す機能を有する。

(5)　緑色に点灯している LED ランプは、地震波を感知すると赤色点滅になり地震発生を知らせる機能を有する。

(6)　テストボタンの短押し（２秒未満）により LED が赤色点滅し感震機能を働かせず動作確認ができるほか、テストボタンの長押し（２秒以上）で即時に擬似漏えい電流を流すことができる。

(7)　リセットボタンにより遮断不要時には地震波感知を無効化することができる。

2　構造・機能

(1)　本製品は、「感震ブレーカー等のガイドライン」に基づく震度５強相当の標準試験の揺れに対応している。

(2)　地震波を感知した場合、擬似漏電回路のリレーを作動させ、抵抗を通じて約 50mA の擬似漏えい電流をアースに流し、漏電ブレーカーを遮断する。

(3)　感震センサーの反応により擬似漏電を発生させる本体及びアース付コンセントへ差し込む差込みプラグ付電源コードにより構成されている。

(4)　本体は、付属のネジ２本により壁面に取り付けることができる。

(5)　本体内部は、マイクロコンピュータ(CPU)、感震センシング部、擬似漏電信号部、操作表示部及び電源部により構成されている。また、本体操作表示部には、LED ランプ、テストボタン及びリセットボタンが配置されている。

(6)　差込みプラグ付電源コードはアース線タイプ及び３端子タイプがあり、アース付コンセントに取り付けることができる。

3　付帯事項

(1)　漏電ブレーカーが設けられていること。

(2)　漏電ブレーカーの仕様は、高速形、定格感度電流 30mA 以下とすること。

(3)　アース付コンセントに取り付け、アース接続すること。

(4)　本体の取付方向は（↑上）の指定に合わせ、取付角度は前後左右±10 度以内とすること。

本推奨製品に関するお問い合わせ先

・一般財団法人日本消防設備安全センター
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-9-16 日本消防会館 10 階
℡ 03-5422-1492／Fax 03-5422-1584／E-mail suisho@fesc.or.jp

・ケー・アイ技術株式会社
〒515-2401　三重県松阪市嬉野釜生田町 367-1
TEL　0598-43-7500　FAX　0598-43-7505
URL　http://www.kinet.co.jp/pc/free01.html